



Advance

令和 3 年 9 月 3 0 日
尾道市立高西中学校
研 究 推 進 部

先日（9月17日）の公開研究会の研究授業，本当にお疲れさまでした。多くの時間をかけて研究授業を構想し，行っていただいた藤井先生，吉田先生，内廣先生，佐藤先生，ご協力いただいた先生方のおかげで，今までの学びを振り返り，新たな課題を見つけるよい機会となりました。今回の研究授業の要点をまとめます。

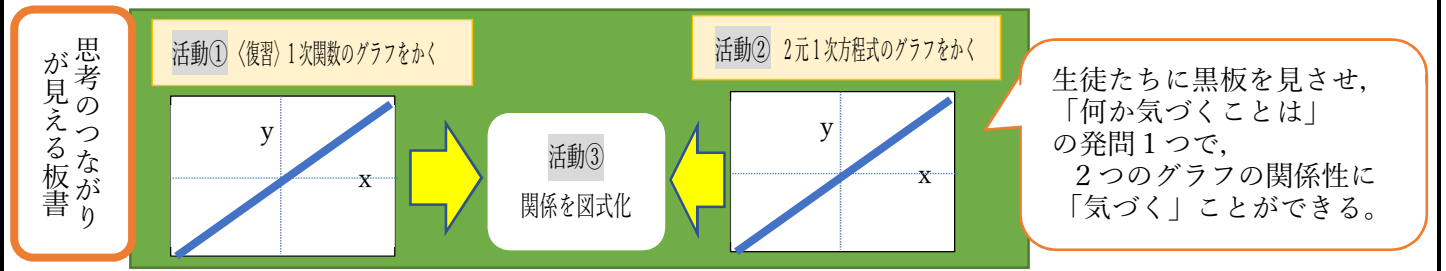
高田指導主事より〈数学の授業をもとに〉

- 思考を図式化して，「2元1次方程式」と「1次関数」という別の単元を統合的に考える，見方・考え方を広げるための工夫があった。
- グラフのアプリを有効に使っていた。
⇒ICT を使うことで，資質・能力を高めることにつながる，より効果的な使い方をすることが大切である。

思考の図式化について

- 教員の提示ではなく，生徒の考えをもとに図式化できるような手立てがあるとよい。
- 思考のつながりを構造的に黒板に示す工夫

「視覚的」に気づきを与える ← どの生徒にも「気づき」が生まれ，学ぶ必然性を感じることににつながる。



村上指導主事より〈国語・総合的な学習の授業をもとに〉

- 生徒の初発の感想から課題設定を行い，学習の進め方を選択していくことで，生徒が，今自分がすべきことを明確にして課題に取り組める。
- 考えるための明確な視点を与える ⇒ 生徒の発表の質の高さにつながる。
- 探究のプロセス（課題設定⇒情報収集⇒整理・分析⇒発表⇒まとめ・振り返り）を意識した活動をきちんと設定することが大切である。
- マッピングは，情報の「整理・分析」の際に有効であり，多くの情報から取捨選択するために活用できる。

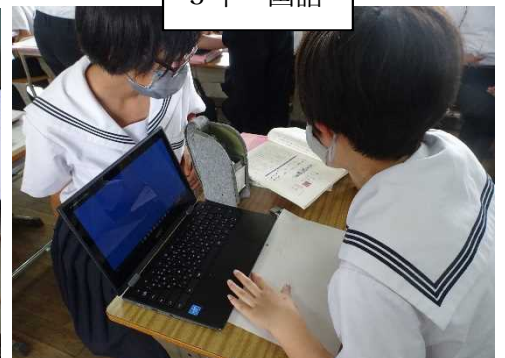
1年 総合



2年 数学



3年 国語



各分科会での協議内容

1年 総合 題材名「ふるさと学習『防災』～明日、南海トラフが起きたら・・・～」 : 内廣, 佐藤教諭

成果		課題と改善策
単元構想と手立て	・防災マップを作っただけで終わるのではなく、対策を考えることに活用している。	・災害辞典, 防災マップという情報を一度に与えたため, 情報を整理・まとめきれていない部分があった。
生徒の主体性を引き出す工夫	・緊急地震速報を流し, いざという時動けるのか考えるきっかけになった。 ・自分の身近な地域ごとにグループ分けをすることで, より必然性が高まった。	
対話的な学び合いを実現する工夫	・ウェビングマップを用いて対策についての考えを広げることができた。	・対策が一般論になり, その地域ならではの課題に対応したものになっていなかった。 ⇒防災マップの活用の仕方, 視点の与え方を工夫

2年 数学 題材名「1次関数」 : 藤井教諭

成果		課題と改善策
単元構想と手立て	・思考ツールで学びの手法を視覚的に整理できていた。	・復習の例題の設定に留意が必要。 ⇒生徒にわかりやすく, ポイントを押さえた難易度に。
生徒の主体性を引き出す工夫	・Geogebra というソフトを導入に利用。 ⇒2元1次方程式と1次方程式のグラフが重なる気づきを生み出す。	・生徒の気づき・驚きを引き出すインパクトさに欠ける部分があった。
対話的な学び合いを実現する工夫	・個人思考のあとには, 学び合いの時間を必ずとっていた。	・話し合いの時間が十分にとれていない。話をすすめる生徒の固定化。 ⇒じっくり話あえる手立てと時間設定を
学びの深まりを実感するための工夫	・ノートや板書がていねいなので, 振り返りに使える。	・振り返りの良い例を紹介し, 生徒間で学んだことの確認を行う。

3年 国語 題材名「『故郷』～あなたは, 作者の捉える『希望』をどう考えるか～」 : 吉田教諭

成果		課題と改善策
単元構想と手立て	単元内自由進度学習を取り入れることによって, 学習の進め方を自分のレベルや興味に合わせて選択できるため, 生徒の主体性につながっていた。	・個人のみで学習で進んでしまう生徒もいる。 ⇒単元内自由進度について, 途中での交流をどのタイミングで行うべきか。これからの実践の中で模索する必要あり。 ⇒ジャムボードやスプレッドシートを活用して個人の学びや考えを記録し, 他者からの学びに生かす。
生徒の主体性を引き出す工夫		
対話的な学び合いを実現する工夫	必要に応じて, 教師との対話や, 近くの生徒との対話で学びを深めることができた。	
学びの深まりを実感するための工夫	・振り返りの際に, 着眼点を示していた。 ・学習方法を振り返ることができている。 ⇒次の時間に掲示することで学びが次につながり, 深まる。	